

活動記録書

開催日： 令和5年9月7日(木) 天候：曇	開催テーマ： 初秋の津久井の丘と古刹を巡る
開催場所： 横須賀市長沢・津久井地区	記入者： 金久保 常二
参加人数： 会員 23名 ビジター 4名 合計27名	
<p>実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題 など）： コース：京急長沢駅(集合)～荘厳寺(昇堂拝観)～東光寺～往生院～万代会館～法蔵院(昇堂拝観)～浅間神社～津久井浜駅(解散)</p> <p>京急長沢駅から三浦の海を離れて少し山沿いの住宅地にある荘厳寺へと足を運ぶ。道路の角地に庚申塔が並んでいる。ご本尊は十一面観世音菩薩である。また運慶作と伝えられる不動明王も祀られている。15分ほど本堂に上がり、不動明王像の胸の小さな扉から愛染明王像を拝むことが出来、寺の歴史などお話を伺った。境内は緑豊かで綺麗に整えられた庭が落ち着いた日本庭園みたいな感じで素敵である。</p> <p>閑静な道を20分程歩いた場所に東光寺がある。正式には七寶山東光寺という高野山真言宗の寺院である。門前には三浦半島一帯を治めた三浦大介義明の弟「津久井次郎義行公の碑」があり、大正11年に建てられたもので平成22年に現地に移動された。彼の名前は津久井という地名から採ったものである。参道正面にある仁王門、右に「三浦富士権現」左に「七寶山東光寺」の標示板を掲げる。1200年以上前、行基によって開基したと伝わる古刹。本堂には薬師如来を中心に諸尊が祀られている。</p> <p>笹の茂る石段を登ると銀杏の巨木が迎えてくれる往生院。永禄元(1558)年に建立されたと伝わる。開山は明誉上人で開基は長谷川正寛と伝えられている。ご本尊の阿弥陀三尊像は横須賀市の文化遺産に指定されている。近くには元学問所だったところがあり戦前は長谷川姓でないと入学資格がなかった。檀家も長谷川姓ばかりである。</p> <p>万代会館の入口はとても目立たない。迷子になったりしてやっとたどり着いた感じである。今では貴重な純日本風・数寄屋作り風の茅葺屋根3棟が1200坪強を超える日本庭園と一体になって佇んでいる。帝国銀行頭取などを務めた万代順四郎の別邸を昭和53(1978)年に横須賀市に寄贈され一般に公開、活用されている。万代会館は万代順四郎の生き様と合わせて、横須賀市の歴史的・文化遺産の貴重な施設である。</p> <p>法蔵院門前の先は三浦の海でロケーションがとても良い寺院である。元久元(1204)年天台宗の聖覚法印の高弟明円上人によって開創され、その後法然上人の教えを受け浄土宗へ改められた。山門にある龍の彫刻は、左甚五郎の作と伝えられる。時化の夜に海を渡り房総へ行くという伝説があり、その為逃げ出さないように眼に「目打ち」として五寸釘が打ってある。このため「目釘の龍」ともいわれる。本堂内にはウルトラマンを模した「ウルトラ木魚」と世界に一つしかない白い木魚が安置されている。中でも「ウルトラ木魚」は宝蔵院を含め世界に三点しかない。</p> <p>京急津久井浜駅のすぐそばに鎮座している浅間神社が最後の訪問先である。長い階段を登ると、こじんまりとした本殿がある。天平年間(729～749)に、行基が駿河国の浅間神社を勧請したのが始まりとされ、此花咲耶姫を主祭神として素戔鳴尊を合祀して昭和3(1927)年浅間神社となった。縁結びなどの守護神を祀る。津久井浜駅で解散。</p>	
<p>参加者の状況・意見など： 猛暑・酷暑の連続の夏でしたが、残暑も盛りを過ぎました。探訪日和に恵まれて今回の半日コースは、27名の参加者であった。皆様のご協力が無事、楽しく終える事が出来ました。京急長沢駅から京急津久井浜駅迄の歴史と自然を満喫するコースでした。</p>	
<p>次回の予定： 令和5年10月5日(木) 10時 京急追浜駅集合 テーマ：浦郷観音道</p>	